

「大人たちの社会見学ツアー」に参加して

米子市水道局

今回は米子市観光協会さんが企画された、「大人たちの社会見学ツアー」に参加してきました。

場所は米子市車尾にある米子市水道局です。

ふだん私たちは何気なく利用している水道水ですが、現在のように安定した水の供給がなされるまでには、いろいろな苦勞の歴史や、それを維持管理していくための設備にたずさわられる人たちの努力があり利用できているのだという事をあらためて感じる事が出来たのではないかと思います。



調整池

水道局の中でひととき大きく目立つのがこの施設。容量は5,000m³あり学校にある25mプールで約11杯分もあるそうです。

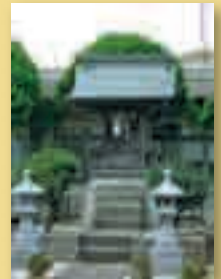


創設記念碑

米子市の水道は、大正13年6月に米子町が国の認可を受け、同年9月に起工し、大正15年4月から給水を開始しました。当時を偲ばせるものとして、創設記念碑があります。

水神社

水道記念館の横にひっそりとたたずんでいます。



米子市水道記念館

水道創設当時に中央ポンプ室として建てられ、外観は白い壁に赤瓦で、一部にアーチの窓があるロマネスク風のモダンな建築です。平成10年には、鳥取県の建物100選に選ばれました。また、平成13年8月には、隣接する創設記念碑・水神社とともに国の文化財に登録されました。



取水井

深井戸2号と言われるこの施設では深さ85mから汲み上げられた原水を試飲することができます。



ポンプ室

3機のポンプが常に稼働しているポンプ室。

奥には停電時などに備えてディーゼルエンジンで稼働するポンプもありました。



「米子の水はきれいだ」とか「米子の水はうまい」とか、よく耳にしますが、これからもずっとそうだという保障はどこにもありません。先人たちの想いを引き継ぎ、きれいな水を供給しようとしておられる方々が私たちには普段は見えないところで努力しておられるのだという事を見て、その供給源である日野川や自然を守ることの大切さを感じた見学ツアーでした。

このツアーに関してのお問い合わせは
米子市観光協会 TEL0859-37-2311